

# 令和3年度 SHIBETSU 子ども議会だより



【開催日】  
令和4年3月22日(火)  
午後3時30分～

午後5時40分



## 【目次】

■市長挨拶	1頁
■議事日程	2頁
■子ども議会の一般質問と答弁	3頁～
■子ども議会の流れ	11頁～





## ご挨拶

士別市長 渡辺英次

令和三年度子ども議会だよりを発行するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

私は昨年の市長選において市民の皆さまからの温かいご支持により市長となり、初めて子ども議会で子ども議員の皆さんの提言を受けることをとても楽しみにしていました。

年が明けても新型コロナウイルス感染症の収束が見られず、市内小中学校でも学級閉鎖・学年閉鎖が続き開催を危惧していましたが、当初の日程から延期をし、三月二十二日に第十回目となる「士別市子ども議会」を無事に開催することができました。

市内四校の中学校から選出された七名の子ども議員が、議会や行政の仕組みを学び、自ら調査研究を重ねて質問通告書を作成し、子ども議会当日は堂々と元氣よく発表され、大変感銘を受けました。

子ども議員の提言は、生活環境・観光・教育・福祉など多岐にわたり、生活の中で感じ望んでいる事柄やふるさと士別をより良くしたいという思いなど、貴重なご意見をいただきました。

この「子ども議会だより」は、そうした子ども達の思いが込められた子ども議会を将来に繋いでいくために作成したものです。

今後一層、子ども議会を発展させ、子ども達の思いやまちづくりに対する提言を真摯に受け止め、市政に反映させてまいりますので、今後とも関係者をはじめ市民各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

# 令和3年度 士別市子ども議会 議事日程

日時 令和4年3月22日(火)午後3時30分開会  
午後5時40分閉会

場所 士別市議会本会議場

- 1 開 会
- 2 議事日程の報告
- 3 市長挨拶
- 4 一般質問

(前半議長) <sup>たかはし</sup>高橋 <sup>ほのみ</sup>穂実

前 半	通告議員		質問事項	答弁者
	1	かねひら あや 兼平 彩 (士別中1年)	市内公園遊具の点検修繕と設置について	市 長
	2	まる さくらこ 丸 桜子 (士別中1年)	通学路等に砂箱の設置と提供者名入り歩行者用砂箱 制度の導入について	副市長
	3	あらい ふたば 荒井 双葉 (士別南中1年)	みんなが楽しく過ごせる場所づくりについて	市 長
	4	かわあい もみじ 河合 椋 (朝日中1年)	士別市のバス料金について ゆるキャラについて	副市長

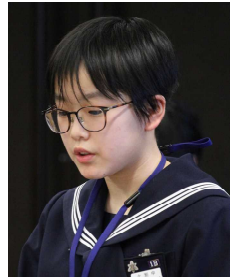
(後半議長) <sup>かわあい</sup>河合 <sup>もみじ</sup>椋

後 半	通告議員		質問事項	答弁者
	5	よしだ 吉田 なつみ (士別中1年)	小規模校と市内学校との交流授業について 農業体験学習について	教育長
	6	たかはし ほのみ 高橋 穂実 (上士別中1年)	上士別医院前のバス停について 士別市内でのDVD等のレンタルについて	教育長
7	しおかわ みゆ 汐川 美優 (士別南中1年)	介護福祉施設の人員不足の問題について	市 長	

- 5 市長挨拶
- 6 閉 会



# 市内公園遊具の点検修繕と設置について



## 1番 かねひら 兼平 議員 (士別中学校1年)

**問** 私は公園の遊具の点検と設置について提案する。

士別市には、宮下公園やつくも水郷公園、ほくと公園など水遊びやいろいろな遊具で遊ぶことができる場所がたくさんあるが、私が小学3年生の頃、公園で友達と遊んでいた際、ブランコの鎖が服に引っかかってしまったことがあった。このように遊具がところどころ壊れかけだったりすると、いつどこでケガをすることがわからないため、安心して遊ぶことができず、残念な気持ちになる。

また、雑草がのびていて、小さい子どもが草で肌を切るなど、遊びづらい要因となるため、古い遊具を始めとした定期的な遊具の点検・修繕、または遊具の新設と、これらに加えて草刈りをしてほしい。

このほか、公園遊具の設置について、士別にはたくさん公園があるが、ここ何年か新しい公園や遊具がないので、友達と遊ぶ際、新鮮さがない。

そこで、どのような遊具を設置してほしいかを小学校にアンケートを出し、子どもたちが考え、その希望を叶える形で新しい土地に遊具を新設

することを提案する。

このようなことが実現されることで、子どもから親子まで安心して、楽しく遊べる公園になると考える。

**答 (渡辺市長)**

士別市の公園管理については、まず春に雪が解けると遊具を設置し、秋までの開園期間中は市の職員が、10日に1回点検に回っている。

また、平成29年度から国の基準が変わり、よりしっかりと公園の遊具を点検する資格を取得することとなり、平成30年度以降は、国の基準による点検などの決まりができた。そして、士別市もそれに基づいて点検を実施している。その点検の結果、壊れそう、または既に壊れている遊具があった際には、しっかりと破損の点検をしながら直せるものは修理をする、あるいは直せないものは、使用禁止にする。そのように諸注意を払っている状況である。

また、草刈りについては、5月から10月までの6ヶ月間に順次4回ずつ行なっている。

士別市には街区公園が21箇所、それから都市緑地公園が4箇所、それから総合公園

が1箇所ある。こういったところもすべて点検をしながら、1年間のうちに4回草刈り作業をしている。

次に公園の整備アンケートについて、近年の公園整備は平成30年度に、つくも水郷公園の整備、北星公園の遊具の更新、それから翌年の令和元年度、あけぼの公園の遊具を更新、令和2年度は西町児童公園の遊具を更新している。

このように士別市では年度ごとに計画を立てて、順番を決めて遊具の更新を進めている。

また、西町児童公園、北星公園、それからあけぼの公園については、たくさんの子どもが遊んでいる公園ということで、他の公園よりも、数多い遊具を設置している。

これらの情報については、士別市のホームページで公開しているの、見ていただきたい。

アンケートについて、これまで士別市では、保育所、幼稚園あるいは子どもセンター等で実施した経緯はあるが、提案のように小学校を通して直接実施ということは今までなかった。

しかし、そういった取り組みができれば、さらに数多くの子どものご意見も聞けると思うので、まずは小学校と協議していきたいと考えている。

最後に公園の新設については、街区公園は、設置する基準というものが国で定められており、半径250m以内に1個公園を作らなければいけないという決まりがある。

加えて市の予算を使用することにもなるので、総合的に考えながら可能かどうかを検討する必要があると考えている。

今回は、議会を通してご意見いただいたが、これからも実際に使ってみて、何か思うことがあれば、声を出してほしいと思う。

### 子ども議員の感想

緊張したが、しっかりと自分の言葉でお話することができたので、良かった。とても良い体験ができた。

# 通学路等に砂箱の設置と提供者名入り歩行者用砂箱制度の導入について



## 2番 丸 議員 (士別中学校1年)

問

私が毎日通る通学路では、冬期間、道に氷が張っているためよく滑る上、雨が降った日などは更に危険であり、登校にも時間がかかる。そこで、私が提案することは、道路の滑り止め用等に使用される砂を入れた歩行者用砂箱を設置することである。

この提案を作成するにあたり、施設維持センターにお話を伺ったところ、現在、士別市では年間約260tほど砂を使用しており、1回あたり砂を撒く量は約3t。過去の実績や道の形状から、132箇所に撒いている。その際の砂の回収は人力が主なため、人件費や砂の費用等もかかるほか、自動ドアの溝に入るなど、砂が逆に障害になることもある。また、砂箱の設置については、地域の人や砂を撒く道に面している家などの許可が必要と考えられる。そこで、歩行者が自由に砂を撒く事ができる砂箱を設置することで、撒く作業は自主的にできるうえ、滑る箇所にみに撒く事で無駄な砂の消費も防ぎ、融雪後に砂を回収す

る負担の軽減もできると考える。

砂箱の新しい設置場所は、東大通の3箇所の交差点を考えている。この通りは、車通りが多く、学生や地域の人の使用率が高い道であるため、ここに「提供者名入り歩行者用砂箱」という制度を導入して設置することが良いと考える。

この制度は、札幌市、石狩市が行っているもので、企業等が市の指定した砂箱の設置に協力し、その提供者名を表示して設置するものである。

この制度を導入することで、市の負担も軽減され、企業等の宣伝効果につながると考える。

答 (法務副市長)

士別市は、大変雪の多い地域であり、平年の降雪量は、約6m30cm程度、それから積雪は、1m10cmほど例年積もる。市内道路の除雪の延長は、558kmあり、歩道も48kmある。これを道路用除雪車64台、歩道専用8台で除雪をしている状況である。

作業は早朝から実施しており、学校周辺についてはみなさんの通学時間帯の前に、作

業を終えるようにしている。

また、道路の信号交差点については、何度も車が停止することによって、滑りやすくなるため、滑り止めの砂を撒いて車が飛び出さないように事故の防止や歩行者の安全確保を図っている。

現在、市街地においては132箇所で砂を撒いているが、交差点内の横断歩道やその歩道部分については撒いてはいない。

また、歩道部分は、歩道用の除雪車が切れ目を入れて、滑りづらくしている。

提案のあった札幌市や石狩市で設置している砂箱制度だが、札幌市では企業等が参入し、市が指定する砂箱を1万円ほどで購入、その後、5年間提供者が出資するというように取り組んでいる制度である。

もし、砂箱がこうして設置できれば滑って危険だと感じた時にその感じた人が自主的に撒くといったようなことができ、砂の無駄遣いにならないという効果もあると考えられる。

丸議員からは、今回3箇所の砂箱設置という提案があったが、市内の歩道はたくさん

あり、また、道路は国道と道道と市道と三つの区分に分けて管理されている。

提案のあった3箇所のうち、2箇所については北海道が管理する道路という道路になっているため、その設置にあたっては、北海道と共有したり許可を取ったりという課題もある。また、今回提案された制度を活用して、交差点内の横断歩道や歩道に、砂を撒くためには、砂箱を購入してもらう企業等を、まず見つけることが必要になってくる。

このように誰が砂を購入するかその他、砂箱の砂の補充や撒く人、雪解け後の砂の清掃の担い手の確保等、解決すべき課題がある。

歩道が滑る要因としては、路面の凍結などが考えられるが、自分たちで気をつけることも必要なので、今後も、十分注意しながら元気に登校してほしいと思う。

### 子ども議員の感想

自分の身の回りだけでなく、市全体を見るようにし、視野を広げて考えることが大切だと感じた。緊張したが質問できて良かった。



## 3番 荒井 双葉 議員 (士別南中学校1年)

問

私は、みんなが楽しく過ごせる場所づくりについて提案する。そう考えた理由は、子どもをもつ親や障がいのある方が他の人への配慮を意識しすぎてしまうと考えたからである。

私は、病院などで泣いている子どもをあやすお母さんが大変そうにしている様子や、車いすの人が人ごみでなかなか進めない様子を見たことがあり、この現状を改善するためにはみんなが集い、楽しく、リラククスしながら交流できる場所があることで、生活することができると思ったからです。そのため、まちなかに落ち着いて過ごせる部屋があり、季節のイベントが開かれるバリアフリー構造のカフェのような施設をつくることを提案する。

私はこの提案に向けて、名寄市社会福祉協議会が行っている「ここほっと」について調べ、質問をした。「ここほっと」は西條名寄店に設置され、いろんな人が足を運んで、交流できる場所である。そのように、いきいき健康センターやお店、空き家などの空きスペース、施設等を活用し、年

齢や性別、障がいを気にせず、士別市民が集まれる場所をつくることで、人とのつながりが増え、お互いを受け入れられるようなまちになると考えた。

また、この場所が、もしも災害等に見舞われた時、誰とも協力し助け合えるような場所になれば良いと考える。

理由としては、もし士別市が大きな災害に見舞われた時、高齢の方や障がいのある方、不安を抱えている方が、その場所を避難所として利用することで、まちのみんなで助け合うことができると思ったためである。

### 答 (渡辺市長)

楽しく過ごせる場所づくりについて、みなさんが集まって楽しくリラククスできる場所があると良いのではないかと、また、もし災害が起こった時には、そこが災害の拠点となるといった避難所としても使えるのではないかとという提案だった。そこで、まちなかに自由に落ち着いて過ごせる部屋、それから季節のイベントなどが開かれるバリアフリー構造のカフェのような施設を作ってはどうかという提

案に対する答弁であるが、士別市には「いきいき健康センター」という施設が、平成28年10月から供用開始になった。

この施設は、主に高齢者の方が集まって運動やコミュニケーション、様々な集団での遊び事に使用する施設である。

しかし、この「いきいき健康センター」は、現状利用者の中心が高齢の方となっており、施設の目的の一つに市民相互の触れ合いや交流のため、子どもから大人、高齢の方がみんなで使用することが理想である。

特に新型コロナウイルスが流行してからは、人が集まるイベントの回数が減少しており、新型コロナウイルスがある程度落ち着いてくれば、提案があった新たなイベントを検討していくことは良いと考える。

それから喫茶店という提案もあつたが、「いきいき健康センター」内に、「福祉の店シユベツ」という水曜日と木曜日週2日間、軽食やお茶を提供する店舗がある。

今後、営業時間の拡大やメ

ニューの増設を検討することは、可能だと思う。

最後に、思いやりのあるまちにしたいということで、そういった施設を作りたいという提案だが、今ある「いきいき健康センター」を更に使いやすい施設にしていく事を士別市としては、推進していきたいと考えている。

今後困っている、あるいは障がいを持った方に優しい気持ちを持てるような、そういった市の政策等も今後色々と考えていきたいと思っています。

### 子ども議員の感想

初めて議会に出て緊張したが、減多に経験することができないことを経験することができて嬉しかった。

テーマを決めて、調べ、学習していく中で、色々な人話を聞いたり、教えてもらうことができ、士別についてよく知ることができた。



# 士別市のバス料金について ゆるキャラについて



## 4番 <sup>かわあい</sup>河合 <sup>もみじ</sup> 桜 議員（朝日中学校1年）

問

バスの料金について、朝日から士別までのバス料金は片道で大人900円、小学生以下の子どもの半額となっている。同程度の距離となる名寄から下川までのバス料金が570円であることと比較し高価だと感じる。市の半額助成を利用して、市街地まで往復900円かかり、遊びに行くのをあきらめ、不便を感じる。

そこで、(株)士別軌道にお話を聞いたところ、現在、朝日から士別間はバスが7往復しているが、1便当たりの利用者数が平均4人程度と大変少なく、バスの修理代や燃料代がかかるため、バス料金を下げることが難しいとの話だった。しかし、今後バスの利用者が増加すれば、バス料金を下げることが可能であると聞き、利用者が増加する対策を考えました。

例えば、バスに複数回乗車すると無料や小中学生のバス助成額の増額、また利用者増のための助成券のPRを実施するなどの活動が必要だと考える。

次にゆるキャラについて、士別市には、さほっち、メイ

ちゃん、みーちゃん、朝日にはジャンプンがいるが、上士別、温根別、多寄にはいないため、出かけたとき印象に残りづらい。各地域の特色を活かしたゆるキャラを作ること

で、イベントなどが盛り上がり、士別市の良いところがたくさん伝わっていくと考える。

また、朝日のジャンプンは、朝日町商工会が中心となって作成し、町民からアイデアを募集し、仲間と考えながら作り上げたとのことだった。

そこで、学校の授業の一環としてゆるキャラを考える授業を導入すると住んでいる地域の魅力を楽しく学ぶことができ、市外の方にもPRできるのではないかと考える。

答（法邑副市長）

士別のバス料金について、バス運賃の設定は、運行距離、乗車率（1日に乗る乗客の人数）に応じて運行を維持するために必要な金額を設定しており、運賃だけでは赤字が発生してしまう状況である。このような路線を廃止代替路線と言い、本来この路線を運営できないということ

で、廃止もやむを得ないとこの路線は市民生活の交

通手段を確保するために必要だとして、市がバス会社に依頼をして、運行を継続しており、運行経費の赤字の損失分について、市から補助金を出している。

そのため、この補助金に見合った料金設定をしなければならず、高い料金になっている。

そこで、現在市が行っているバスの利用を増やす取り組みとして、小中学生へのバスの半額助成を実施している。

助成については市ホームページに掲載されており、また、冬休み前などに学校を通じて、チラシを配布してもらおうなどの周知に努めている。

今後市内バスの循環経路の工夫や、自動運転の研究、予約制の乗り合いバスの運行等、バスを含めた市内の公共交通全体の利便性の向上が維持できる仕組みづくりを検討していく。

次に、市には様々なゆるキャラがあり、市内、市外のイベントに参加して士別市のPRを行っている。

現在の士別市は、平成17年に旧士別市と旧朝日町が合併して誕生し、さらに以前

は、当時の士別町、上士別村、多寄村、温根別村が、合併して旧士別市となった歴史があり、それぞれの歴史の中で守ってきた特徴ある文化に基づいて、今のイベントや自治会活動など地域一体となって取り組んでいる。士別市には、将来の地域づくりを計画している地区別計画というものがあ、り、この中で、各地域のキャラクターを作成してPRするといったようなことも含まれてくると思う。

朝日町のジャンプンは、地元の商工会が主体となって誕生したが、その際には、市から経費の一部を支援している経緯がある。

重要なのは、そこに住む住民の方々が、自分たちの地域をどうしたいのかということであり、地域住民が一体となった取り組みに対しては、市としても協力や支援を検討していく考えである。

### 子ども議員の感想

緊張してしまっただが、初めての経験ができて良かった。今回の経験をこれからの学校生活に活かしていきたい。

# 小規模校と市内学校との交流授業について 農業体験学習について



## 5番 よしだ 吉田 なつみ 議員 (士別中学校1年)

問

私が通っていた温根別小学校は全校児童12名の学校で、士別中学校に入学すると、生徒数が10倍以上になり、しばらく雰囲気になじめなかった。小学生時に交流学習があったが、それだけではあまり交流が出来なかった。

そこで、オンラインでの交流を行うことを提案する。交流学習に加え、交流を休み時間や給食時間に行えば、リラックスして交流できると考える。

このような取り組みを行うことで、学校の雰囲気慣れ、溶け込みやすくなると思う。

次に農業体験について、近年は農業者が減少しており、全国では平成27年から令和2年の5年間で46万人もの人が離農している。

そこで、中学生が農業にもっと興味を持てるようにしたいと考え、学校に農業委員会をつくり、農業のお手伝いや出荷できない野菜を譲り受け、調理実習などで活用する取り組みを行いたいと考えた。

その活動のきっかけとして、中学生でも気軽に参加できる収穫体験などがあれば良いと考える。また、中学2年生で

答 (中峰教育長)

は、職場体験というものがあ  
り、その候補の一つとして農  
業を加えることを希望する。

現在、士別市内には6つの  
小学校と4つの中学校があ  
り、このうち中学校の区域と  
小学校の区域が異なっている  
のは、温根別小学校と多寄小  
学校の2つであり、現在、士  
別中学校には、士別小学校の  
ほか温根別小学校と多寄小学  
校の3校の児童が進学してい  
ることになる。

少人数の中にいて、ある  
日、急に大勢の中に入ってい  
くということは、子どもに限  
らず、例えば大人であっても  
も緊張することだと思ふ。

そうした理由からみずれ  
一緒に学ぶことになる小学校  
の児童同士が、早いうちから  
お互いを知り合い、顔を合わ  
せることで中学校に進学した  
際に、できるだけ緊張がない  
ように、温根別小学校の児童  
と多寄小学校の児童、そして  
士別小学校の児童との間で交  
流授業を実施してきている。

交流は1年から6年生まで  
年2回程度実施していたが、  
現在は、新型コロナウイルス  
感染症が拡大して、6年生が

交流授業を1回行うのみとな  
っている。

他にも市内の子どもたちが  
交流し合う場面としては、小  
学校の陸上記録会、中学校  
の音楽発表会があった。

これらも、この2年間は実  
施できていない状態であり、  
他校の雰囲気を知る機会も失  
われている。

一方で、教育委員会主催の  
チャレンジ寺子屋や土曜子ど  
も文化村は、この状況下でも  
継続して実施しており、他の  
学校の児童同士が、その後、  
友達になったり、少年団活動  
を通じた仲間づくりができて  
いる場合もある。

修学旅行の打合せ、みよし  
市との交流など、このコロナ  
禍でオンラインでの活動の普  
及が進み、色々なことができ  
るようになり、これからの有  
効な手立てとして検討してい  
きたいと思っている。

2点目に農業体験学習につ  
いて、農業は士別の基幹産業  
の1つであり、多くの市民が  
携わっている。

市の農家人口は、平成2年  
度には、約7千戸あったが、  
27年度には2千戸を切って  
おり、未だ減少を続けてい

る。農業の大切さを改めて知  
ってもらうために、市では小  
学校で農業学習を実施してお  
り、今回は、学習を中学校に  
も広げることを提案いただい  
た。しかし現状多くのことを  
学校で学んでいるなかで、新  
たに別の専門的なことを学ぶ  
ことは難しいと考える。

ただ、生徒の自発的活動と  
して農業に関わっての体験的  
な学びをすることは素晴らしい  
ことだと思ふし、部活等、  
色々な可能性を考えることが  
できると思っている。

また、ICT農業などの先  
進技術や東高校の学校農園の  
取組み、「きたりんファーム」  
での稲作体験など色々な  
形で学んでいくことは必要だ  
と思ふし、自発的、自主的な  
学びはできると思ふので、是  
非そういう可能性も含めて、  
各学校と相談して、取り組ん  
でいきたいと思ふ。

### 子ども議員の感想

質問に対していただいた  
答弁が、よく理解できた。  
わかったことを忘れたく  
ないと思ふし、たくさんメモ  
をとった。

# 上士別医院前のバス停について 士別市内でのDVD等のレンタルについて



## 6番 高橋 穂実 議員（上士別中学校1年）

問

上士別医院前のバス停について、現在、上士別小・中学生が下校の際に利用しているバス停には、雨風をしのげるスペースがなく、利用している生徒に聞き取りを行ったところ、重たいリュックを背負ったままバスを待つのは辛いとの意見があった。バス停は一般の方も利用するため、雨風を防げる待合所の設置を提案する。なお、現在の停留所にスペースが確保できない場合は、移設することも一つの方法と考える。

次に、士別市内でのDVD等のレンタルについて、2年前に市内唯一のレンタルショップが閉店し、市民の娯楽が1つ減り、大衆娯楽の衰えとして問題視するべきと考えた。現在、市内でDVD等を借りることができる施設は、士別図書館のAVコーナーのみであることから、どのようなDVD等があるのか、先日、図書館の検索機能を利用したところ、AV資料の検索がわかりにくいと感じた。

解決法として、AVコーナーを利用しやすくするための蔵書検索機能を改善し、図書館のホームページに掲載され

答（中峰教育長）

上士別医院前のバス停について、これまでさまざまな形で地域のみなさんや児童生徒からの要望があり、士別市及び教育委員会としても検討を重ねてきたが、なかなか良い方法を見出すことができずに今日に至った。

現在の新しい校舎が完成した時にバス停についての話があり、それから約6年経過していることになると思う。

最近でいうと、令和元年に実施した上士別中学校でのことも夢トーク時でも、この待合所の話が出て、それ以前にも地域からの声として寄せられたり、市議会議員からの相談も寄せられている。

結論としては、上士別については学校前の横断歩道から渡って南側にバスが一旦止まり、約3分そこで駐車していただき、その間出張所でバスを待つてもらおうことで、バスが来たとわかってから出張所を出ると、焦らずに歩いてバスに乗車できると思うので、まずはこの方法で対応しようと思っている。

合わせて、上士別医院前のバス停もそのまま残すので、そこから乗ることもでき、雪解け後には表示板を取り付けの予定である。

ただ、中学校の部活動の練習後の時間の乗車の便について、どうするか決まっていなため、これからの検討課題だと考えている。

次に、市内でのDVD等のレンタルサービスについて、レンタルビデオショップや新盤のCD販売店の閉店ということ、やはり人口が減っているところが背景となっていると思われる。その中で、図書館でDVDを借りることに着目していただいた。

現在、市立士別図書館には、1,018点のDVDがあり、これ以外にビデオやレーザーディスクが、合わせて2,400点ぐらいある。これは全て、著作権が承認されているものであり、一般のレンタルビデオショップ等の一定の著作権料を払いながらとは違い、何でも揃えることができない。

また、貸出しについても、公平性等から、貸出期間も短く、予約は行っていない。

そして検索が非常にしづらかったことについて確認を行い、現在検討を行っている。今後、何らかの形で探しやすいものに改善していこうと一生懸命知恵を絞っている。

また、図書館に行く以外にも、本を借りる時は出張所や移動図書館等があるのでぜひ利用してほしい。

### 子ども議員の感想

中峰教育長に丁寧に答弁していただき、納得のいく答えを得ることができた。

学習会や研究を通して、自分の住んでいる地域について、深く知ることができた。

今回の子ども議会をきっかけに、今までの自分と比べて、より自主的に行動できるようになったと思う。

この経験を学校生活に活かしつつ士別市民としてこのまちを大切にしていきたい。





## 7番 しおかわ みゆ 議員 (士別南中学校1年)

問

私は、介護福祉施設の人員不足の問題について提案する。

この提案は、以前、祖父が士別の介護福祉施設に入る事ができず、旭川の介護福祉施設に入居するしかなく、会える機会が減ってしまったことがきっかけとなった。

また、士別の介護福祉施設が人員不足のため閉鎖し、入居をすることができなくなってしまうということがあることを知ったこともまた、きっかけの一つである。

子ども議員に任命され、学習会の時に市の介護保険課の職員から話を聞いたところ、士別市では、人口あたりの介護福祉施設数は多いこと、従業員の数に対して、介護を必要とする高齢者の割合が多いということを知った。

また、士別市では介護職員を増やすための取り組みの一つとして、希望する高校生を対象に、介護体験実習をする事業所に対して助成をしていることも知った。

介護の仕事は、やりがいはあるが、業務内容が大変で、その仕事をやってみたいと思っても中々できず、仕事に對

して給料があまり高くなく、わりに合わないなどと思う人もいると聞いた。

そこで、私は人が集まる場所、例えば小さい頃に見た大手デパートでやっていた看護師のPRイベントのように、デパートの空きスペースや「ふれあい広場」などで、介護職をアピールする催しを開けば、興味を持つ人が増えると思う。

また、講演会などを開き、クイズや体験を取り入れて、みんなが行きたくなるようなイベントとすることで、介護職につきたいと思う人が増えるのではないかと考える。

答 (渡辺市長)

議員については、祖父が士別の介護福祉施設に入れず、旭川の施設に入ったために会えなくなった経験から今回の提案をしたということで、そういうことがないように市役所としても対策を考えていく必要があると感じている。

施設の数が多いが、中で働く人が少ない、だから閉めざるを得ない、だから見てもらえないんだという、このような実態を勉強されたのだなと思っている。

この問題は、士別市だけではなく、多くのまち、日本全体の大きな課題となっている。

高齢者の人数でいうと2055年ぐらいまでは増加の見込みである。

しかしながら介護従事者については、年々減少傾向にある。その理由としては、職業として選ばないということが一つ、一度働いてみたが、体がついていけなかった等、労働内容や条件に折り合いがつかなかった、あるいは職場環境でなかなかみんなと一緒に仕事をやるのが難しかった等、色々な理由があると考えられる。

そういうことをしっかりと一つひとつ原因を解消していく必要がある。

そこでまず、今士別市が行っている介護従事者を増やすための取組みについてだが、高校生の中で、介護職に就きたいと思っている人に対して職場体験に対する補助、助成、支援を実施しているほか、移住者の中で、介護の仕事で働きたいという人に対しては、さらに補助、助成を厚く支援することも行って

る。

それから介護従事者について、介護をする上で必要な資格を有している方と、有していない方がおり、資格を取れば給料は少し上がるため、資格を取るための費用を士別市で一部負担している。

このほか士別の社会福祉協議会が中心となって、事業所説明会やイベントを行っている。

また、給料について触れると、色々なお仕事に対する平均の賃金よりも、国が決めている価格より平均で6万円低い。

これについては、士別市に限らず、全国的な問題として国に要望していかなければならないことだと思っている。

### 子ども議員の感想

今回市長からお話を伺い、士別でも色々な対策をしているけれど、なかなか介護に関わる人が増えないということ、あらためて難しいことなんだと思った。

## 市長からのお礼挨拶

議員のみなさんは、思ったより質問できただろうか。

最初みなさんは緊張しているというお話をしていたが、実際質問している姿を見て、本当に堂々と、そして切実に自分の思いを質問としてぶつけてくれたと感じた。

私も去年の9月25日から市長という立場になり、まだ半年である。

そのため、今日の子ども議会も当然初めてということとで、みなさん以上に緊張していたが、みなさんの質問を聞いて本当に嬉しい気持ちになった。

今年の子ども議員のみなさんは中学校1年生ということであったが、こんなに色々な事を考えてくれるんだなということがわかった。これから士別市は人口がまだ少し減っていくかもしれない。

しかし、このまちを良くしようと思ったなら、大人だけが頑張っても良いまちは作れない。

みなさんは今年中学校2

年生になり、3年生、そして高校生になっていく。

今回子ども議員として、色々勉強して、提案してくれたと思うが、子ども議員だからということではなくて、普段の生活の中から疑問に思ったこと、不思議に思ったこと、嫌だなと思ったこと、これらに対してそのまま目を背けるということはやめてほしいと思う。

もし、そういうものがあつたら、あえて何故なんだろうという気持ちを持って、少し色々勉強してみると、解決方法がわかったり、仕組みがわかったりすることもあつた。

そして仕組みがわかると逆に面白くなることもあり、もっと勉強しようと思うこともあつたと思う。

だから疑問に思うこと、勉強すること、そして最後に発表すること、これができればみなさんはこれから、将来色々なお仕事に就くと思うが、どんな仕事に就いてもしっかりと、この社会で頑張っていけると思う。

まずはそれに向けて、まだまだ勉強する年齢だとは思

うが、今のようない気持ちを持ってこれからも頑張ってもらいたい。

最後になるが、本日の会議の資料として、「子ども議会だより」というものを発行している。

みなさんも見たことがあると思うが、今回も発行するので、あらためてみなさんが自分自身でやった、質問と我々がした答弁、それについてもう1回読んでいただいで、さらにまた改善方法があつたら、私たちの方に教えてもらえると、大変嬉しく思う。本日は本当に私も勉強になった。

ありがとうございます。これからみなさん頑張ってください。以上です。



## 士別市子ども議会

### 子ども議会議長



#### 【前半議長】

たかはし ほのみ  
高橋 穂実 議員

(上士別中学校 1年)



#### 【後半議長】

かわあい もみじ  
河合 柊 議員

(朝日中学校 1年)



# 子ども議会の流れ

市内4校の中学校から推薦された7名の生徒が子ども議員となり、5回の事前学習会を通して、自らが身近に感じることや土別市の未来への思いを質問通告書として文章にまとめ、子ども議会に臨みました。

## 子ども議員任命式

## 第1回事前学習会

令和3年11月29日（月）午後4時～午後5時30分

土別市民文化センター 研修室

・事前に15分間のアイスブレイクを実施

【子ども議員任命式】

■任命書の交付と副市長・教育長の挨拶

【第1回事前学習会】

■講義「市議会のしくみ・市議会の仕事について」

（土別市議会 文教厚生常任委員長／

予算決算常任委員 喜多 武彦 議員）

■講義「土別市のまちづくりについて」

（総務部企画課振興係 萩田 貴彦 係長）



## 第2回事前学習会

令和3年12月6日(月)午後4時〜午後5時30分  
士別市民文化センター 会議室1

■質問テーマの決定と前半・後半議長の選出

## 第3回事前学習会

※第3・4回事前学習会は会場を分散して実施

①令和3年12月9日(木)午後4時〜午後5時30分  
上士別公民館(上士別中の子ども議員)

②令和3年12月13日(月)午後4時〜午後5時30分  
士別市民文化センター(士別中の子ども議員)

③令和3年12月14日(火)午後4時〜午後5時30分  
士別市民文化センター(士別南中の子ども議員)

④令和3年12月15日(水)午後4時〜午後5時30分  
朝日支所(朝日中の子ども議員)

■質問テーマの調査研究と質問通告書の作成

## 第4回事前学習会

①令和3年12月15日(水)午後4時〜午後5時30分  
士別市民文化センター(士別中の子ども議員2名)

②令和3年12月16日(木)午後4時〜午後5時30分  
士別市民文化センター(士別中の子ども議員1名)  
上士別公民館(上士別中の子ども議員)

③令和3年12月17日(金)午後4時〜午後5時30分  
士別市民文化センター(士別南中の子ども議員)

朝日支所(朝日中の子ども議員)

■質問テーマの調査研究と質問通告書の完成

## 第5回事前学習会

令和4年3月14日(月)午後4時〜午後5時30分  
士別市議会本会議場

■本番に向けた総練習

- ・入場練習
- ・質問通告書読み上げ
- ・子ども議会リハーサル



学習の様子及び本番に向けた総練習風景



子ども議会当日



中峰 寿彰 教育長



法邑 和浩 副市長



渡辺 英次 市長



## 令和3年度 士別市子ども議会だより 令和4(2022)年5月25日発行

【発行編集】士別市 士別市教育委員会生涯学習部中央公民館企画運営係  
〒095-8686 士別市東6条4丁目1番地 士別市民文化センター内  
電話 0165(26)7223 F A X 0165(23)3358  
メール/kohminkan@city.shibetsu.lg.jp

【士別市HP】<http://www.city.shibetsu.lg.jp>